

第 1 学年 英語科学習指導案

日 時 平成 27 年 10 月 1 日

1. 単元名 (題材名)

SUNSHINE ENGLISH COURSE 1

PROGRAM6 「由紀のイギリス旅行」

2. 単元観 (教材観)

本単元では登場人物の由紀がイギリス旅行をし、滞在中ホストファミリーのジュディーとその友達マットとともにシャーロック・ホームズについての情報を得ていくという内容で、3 単元の肯定文、疑問文、否定文を学習していく。

PROGRAM6-1~3 では、ティームティーチングによるスキットで新文法を口頭導入し、基本文の読み書き練習、リスニング活動、パターンプラクティス、会話によるコミュニケーション活動、本文内容読み取りという教科書の流れに沿いながら新文法の定着を図る。

そして本時では、そのまとめとして富原中学校で起こった窃盗事件を解決するという活動を行う。平成 24 年から実施された外国語科新学習指導要領の改訂において、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の指導をバランスよく指導し、「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付ながら活用し、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信する力を育成することが求められている。

そのため、この活動では、現場に残されたものをヒントに自ら考えた参考人物についての質問をし、その答えを正確に聞き取ることで「話すこと」と「聞くこと」、犯人を特定し、その人物が犯人であることを立証するための文を書くことで「書くこと」、他のグループが書いた文を理解することで「読むこと」の 4 つの領域を総合的に使用し、発信する場面を設定した。

3. 生徒観

< 省 略 >

4. 各部会研究テーマと本単元・本時案との関わり

部会テーマ「学習意欲を高め、基礎・基本の定着を目指した言語活動の展開」

新学習指導要領において、言語活動の取扱いについて、既習の内容を繰り返して指導し定着を図ることで学習の深まりを目指すことが明示され、さらに小学校における外国語活動と中学校における外国語科の学習との円滑な接続が図られるよう、第 1 学年では小学校段階での外国語活動を通じて育成された素地を踏まえることへの配慮が示されており、次のような配慮事項が加えられている。

第 1 学年における言語活動では、小学校における外国語活動を通じ音声面を中心としたコミュニケーションに対する積極的な態度などの一定の素地が育成されることを踏まえ、身近な言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語活動を行わせること。その際、自分の気持ちや身の回りの出来事などの中から簡単な表現を用いてコミュニケーションを図れるような話題を取り上げること。

そこで、昨年度の英語・外国語部会で、小中連携として、小学校と中学校でそれぞれ 1 回研究授業を行い交流した際、小学校の授業で使っていたクラスルームイングリッシュやゲームを本授業でも取扱い、小学校から中学校での接続を意識し、外国語活動から外国語科の学習へスムーズに移行できるような場面設定をする。

また、言語活動においては実際の使用場面を想定して、既習事項が日常生活で使えることを実感し学習意欲の高まりにつながるよう意識した。そして、繰り返し既習事項を使うことによって、基礎・基本の定着を図る言語活動となるよう工夫した。

5. 単元の目標

・3単元の肯定文、疑問文、否定文を用い、課題解決に向けて積極的に取り組むことができる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

・3単元の肯定文、疑問文、否定文を用い、自分と相手以外の第3者について話したり書いたりすることができる。
(外国語表現の能力)

・3単元の肯定文、疑問文、否定文が用いられている英文を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。
(外国語理解の能力)

・3単元の肯定文、疑問文、否定文の構造の知識を身につけ、正しく使うことができる。
・よく使われる語句を正しいつづりで書くことができる。
(言語や文化に関する知識・理解)

6. 評価規準

時数	学習内容	評価規準			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語の理解の能力	言語や文化に関する知識・理解
1	・3単元の肯定文について理解する。		・友達と対話した結果を、別の友達に報告することができる。		・自分と相手以外の1人がすることについて言うとき、動詞の後ろに-(e)sをつけることがわかる。
2	・P62の本文内容を理解する。		・ペアで対話文を読むことがおむねできる。	・新出語句や3単元の肯定文に気を付けながら対話文を読み、内容を理解することができる。	
3	・3単元の疑問文について理解する。		・自分と相手以外の1人について聞いたり答えたりすることができる		・自分と相手以外の1人がすることについてたずねるときは、Doesで始めて、doesを使って答えることがわかる。
4	・P64の本文内容を理解する。		・ペアで対話文を読むことがおむねできる。	・新出語句や3単元の疑問文に気を付けながら対話文を読み、内容を理解する	

				ことができる。	
5	・3 単現の否定文について理解する。		・クラスメイトや家族、先生がしないことについて話したり、書いたりすることができる。		・自分と相手以外の1人がしないことについて言うときには、 doesn't を動詞の前に置くことができる。
6	・P66の本文内容を理解する。		・ペアで対話文を読むことがおむねできる。	・新出語句や3単現の否定文に気を付けながら対話文を読み、内容を理解することができる。	
7 本時	・3 単現の肯定文、疑問文、否定文を用いる活動に取り組む。	・積極的に質問を考えたり、英文作成に意欲的に取り組むことができる。	・質問への答えを聞き取り、それをもとに英文にまとめることができる。		

7. 単元計画（全7時間）

時間	単位時間の目標	○主な学習活動	■評価規準（観点） □評価方法
1	友達について報告することができる。	○3 単現の肯定文について理解し、練習する。 ○友達と対話し、その結果を別の友達に報告する。	■友達について報告することができる（言語や文化についての知識・理解）（外国語表現の能力） □ワークシート
2	由紀とジュディー、マットの対話文を読むことができる。	○新出語句を練習する。 ○対話文を読み取る。 ○音読練習をする。	■対話文をおおむね読み取ることができる（外国語表現の能力）（外国語理解の能力） □観察
3	自分と相手以外の1人について友達と会話することができる。	○3 単現の疑問文について理解し、練習する。 ○自分と相手以外の1人について友達と対話する。	■自分と相手以外の1人について友達と会話することができる（言語や文化についての知識・理解）（外国語表現の能力） □ワークシート
4	シャーロック・ホームズ博物館へ向かう由紀とジュディー、マットの対話文を読むことができる。	○新出語句を練習する。 ○対話文を読み取る。 ○音読練習をする。	■対話文をおおむね読み取ることができる（外国語表現の能力）（外国語理解の能力） □観察
5	クラスメイトや家族、先生がしないことについて話したり、書いたりすることができる。	○3 単現の否定文について理解し、練習する。 ○クラスメイトや家族、先生がしないことについて言う。	■クラスメイトや家族、先生がしないことについて話したり、書いたりできる。（言語や文化についての知識・理解）（外国語表現の能力） □ワークシート

6	シャーロック・ホームズについて話す由紀とジュディー、マットの差異和文を読むことができる	○新出語句を練習する。 ○対話文を読み取る。 ○音読練習をする。	■対話文をおおむね読み取ることができる (外国語表現の能力)(外国語理解の能力) □観察
7 本時	富原中学校で起こった窃盗事件の犯人を特定して、事件を解決することができる。	○現場に残された物をヒントに、質問文を考える。 ○ALT や JTE に質問して答えを聞く。 ○犯人を特定し、立証する英文を書き、交流する。	■犯人を特定し、事件を解決することができる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)(外国語表現の能力) □ワークシート □観察

8. 本時案

(1) 本時の目標

- ・積極的に質問を考えたり、犯人を立証する英文を意欲的に書くことができる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・参考人物についての情報を聞き、犯人を立証する英文を書くことができる。
(外国語表現の能力)

(2) 本時の展開

過程	学習活動	教師の働きかけ	○留意点 ★評価規準 (評価方法)
導入 (15分)	1. 挨拶 2. Bingo 3. Key Words Game 4. 本時の課題確認	1. 挨拶 2. PROGRAM6 で学習した内容を復習させる。 3. 動詞に 3 単現の s(es)が付いた形を復習させる。 4. 本時の課題を提示する。	○画像を使って提示する。
Mission : 富中で起こった窃盗事件を解決せよ!			
展開 (25分)	5. 現場に残された犯人の所持品をヒントに、質問を考える。(個人) 6. グループになり、互いに考えた質問内容を交流し、それをまとめ、口頭練習をしてから、自分の担当の人物について聞きに行く。(グループ) 7. 犯人がわかったら、その人物が犯人であることを立証する英文を書く。(グループ)	5. 現場に残された物をヒントに、どんな質問をしたらよいか日本語で例を示す。 6. グループを作り、交流、まとめ、練習が終わったら質問に行くよう指示する。 7. 英文を書く指示をする。	○ワークシートを配布する。 ★意欲的に活動したか (観察) ★適切な疑問文で質問しそれに対する答えを聞き、犯人を特定する英文を書くことができたか (ワークシート)
まとめ (10分)	8. できた英文をグループのリーダーが発表する。 9. 自己評価 10. 挨拶	8. 発表の指示をする。 9. 今日の活動を振り返させる。 10. 挨拶	○ワークシートを回収する。

(3) 本時の評価

- ・積極的に質問を考えたり、犯人を立証する英文を意欲的に書くことができたか。
- ・参考人物についての情報を聞き、犯人を立証する英文を書くことができたか。

(4) 板書計画

<p>Bingo</p> <ul style="list-style-type: none">・ has→He <u>has</u> a dog. × have・ does→Does he like tennis?・ his・ her・ doesn't→He doesn't like tennis.・ Chinese・ coffee	<p>like→likes play→plays drink→drinks eat→eats speak→speaks read→reads study→studies have→has</p>	<p>Mission : 富中で起こった窃盗事件を解決せよ!</p> <ol style="list-style-type: none">1. 犯人が残した所持品をヒントに質問を考える2. グループで質問をまとめて、スチュアート先生か鹿野先生に聞きに行く3. 犯人がわかったら、この人が犯人だと立証する英文を書く4. グループリーダーが発表し、それを聞きとる
---	---	--

You are a detective! Part 1

1年組 Name _____

Mission : 富中で起こった窃盗事件を解決せよ!

富原中学校に昨夜窃盗団が入った。次の場所にそれぞれ別々の泥棒が入り、金品を盗んでいったようだ。→ ①体育館 ②音楽室 ③図書室 ④美術室

しかし、犯人はそれぞれの場所に自分の所持品を残していった。映像を見よ。

今朝、この事件に関わったとみられるあやしい人物が4人浮上した。→ (1) Bob (2) Mike (3) Sam (4) Tom

どうやらこの4人が富原中学校に泥棒に入ったようだ。誰がどの場所で泥棒をしたのか解決してほしい。

この4人について、スチュアート先生と鹿野先生がよく知っているらしい。

しかし、スチュアート先生も鹿野先生も英語しか話さない。英語で(1)～(4)の人物について質問し、犯人を特定せよ。

1. それぞれの現場に残された犯人の所持品 (ドッグフード、キャットフード、コーヒー、牛乳) をヒントに、質問文を考えよう。

質問1	
質問2	
質問3	
質問4	

2. ～ここからグループ活動～

お互いに自分の考えた質問文を見せ合い、グループでまとめ、質問文ができたなら読む練習をしよう。

読む練習が終わったら、スチュアート先生か鹿野先生に聞きに行き、答えを下の表にメモしよう。

	Bob	Mike	Sam	Tom
dog				
cat				
coffee				
milk				

3. 体育館、音楽室、図書室、美術室に誰が泥棒に入ったのか、グループで話し合おう。

体育館→ 音楽室→ 図書室→ 美術室→

You are a detective! Part 2

1年 組 Name _____

4. 犯人がわかったら、その人物が犯人だと証明する英文を書こう。

He
He
So _____ is the robber at the gym! 犯人の名前を書く ラバー ジム

He
He
So _____ is the robber at the music room! 犯人の名前を書く ラバー

He
He
So _____ is the robber at the library! 犯人の名前を書く ラバー ライブラリー

He
He
So _____ is the robber at the art room! 犯人の名前を書く ラバー アートルーム

5. 今日活動をふり返ろう。(○をつけましょう。)

①活動に積極的に取り組みましたか。	取り組めた・まあまあ取り組めた・取り組めなかった
②質問文を考えることができましたか。	考えられた・まあまあ考えられて・考えられなかった
③犯人を立証する英文を書くことができましたか。	書けた・まあまあ書けた・書けなかった

Answer

	Mike	Tom	Bob	Sam
dog	☉	×	☉	×
cat	×	☉	×	☉
coffee	No, he doesn't. But his dog drinks(likes) it.	×	No, he doesn't. But his dog drinks(likes) it.	×
milk	×	No, he doesn't. But his dog drinks(likes) it.	×	No, he doesn't. But his dog drinks(likes) it.